

<様式6>

畜産試験場試験・研究課題事後評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：鶏の改良増殖

小課題名：やまなしの新銘柄鶏の開発

細目課題名：

担当者：船井咲知

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	銘柄鶏の品種選定、交配法の決定に加え、性能も目標をクリアしており、当初の研究目標は達成されている
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	開発した鶏はセールスポイントとなる食味特性があり有用性の高い成果である。すでに普及への取組みが始まっており結果に期待したい。
3 研究の発展性	3 / 5	銘柄鶏の開発ということでは研究は完了している。ただし普及にあたっては生産者に適正な飼養管理マニュアルを提供する必要がある、この部分の研究はさらに必要と思う。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	ブロイラーよりも肉質が良く、値段の手頃な肉という消費者の要望を受けた研究であり、また生産性の目標も立てており妥当と評価。
総合評価	5 / 5	課題選定から研究の内容、成果とも評価できる。銘柄鶏として広く普及することを期待する。また飼養管理マニュアルの確立やコスト低減の研究が加わると普及への強い後押しになると期待される。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

甲州地どりに近い食味で、肥育期間の短い山梨県独自の銘柄鶏を開発した。今後、飼養管理マニュアルを作成し、普及を図る必要がある。

<様式6>

畜産試験場試験・研究課題事後評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：飼料費高騰に対応した飼料給与体系の確立

小課題名：ブロイラーにおける動物性由来の飼料資源有効利用技術の確立

細目課題名：

担当者：松下浩一

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	目標とした動物性由来の飼料資源有効利用について、たいへん興味深い成果が得られており、達成度は高いと評価。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	未利用資源であった鰹だし粕の飼料資源としての有用性を初めて明らかにした成果で、蛋白質源として養豚や採卵での利用の可能性もあり、普及性の高い成果として評価できる。
3 研究の発展性	5 / 5	鰹だし粕の低エネルギーなのに増体が改善される効果はたいへん興味深く、この作用の解明研究への発展が期待される。また蛋白質源として養豚や採卵鶏での利用研究の可能性もある。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	県内の未利用資源の活用を目指した研究であり、妥当性は高い。また動物性資源に着目した研究は国内でもほとんどなく独自性も高い。
総合評価	5 / 5	県内の未利用資源でしかも先行研究例がない鰹だし粕の研究であり、研究の内容、成果ともたいへん評価できる。また鰹だし粕の増体効果は栄養生理学の面でたいへん興味深い内容で、さらなる研究の発展も期待できる。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

未利用資源である鰹だし粕（動物性資源）をブロイラーの飼料資源として、有効利用できることが実証できた。今後は、県内の農家が利用できる体制の整備が必要である。